

# 良 友

県議会議員 田中良二 県政報告

## 第 35 号

〒895-0071

薩摩川内市田海町 8313

TEL・FAX 0996-30-2490

良二君と良き友に

夢に向かって改革発展

## 6月県議会だより (9回目の一般質問)



『行動と政策提言』

### 原子力防災について

世界史に残る大災害となった東日本大震災を踏まえて、  
①防災対策について(情報伝達体制) ②原発の定期検査について ③福島第一原発の事故原因について ④浜岡原発の停止要請について 質問しました。

特に、福島第一原発の重大事故については、1. 一刻も早い事態の収束 2. 事故原因の究明 3. 国の新たな指針策定 4. 新指針による徹底検証 5. 既存原発の安全対策を訴えました。



<港町：船間橋 手前>

「(川内原発から3km内の)船間橋を含む270mの区間は、原子力防災の避難道路にもなっており、本年度、橋梁の前後240mについて、歩道を整備する。」

<H23.6.24 土木部長答弁>

### コミュニティ活性化について

宝くじ収益を原資とする「財団法人自治総合センター コミュニティ助成事業」として、本年度は1億9700万円が本県内の自治組織に補助され、自治公民館建設、自主防災組織育成等に活用されています。

【コミュニティセンター助成事業として、公民館建て替え補助が決定】

昨年度、地域の要望を受けてから、市・県と調整を続け、補助採択になりました。



<尾白江公民館>



<今寺公民館>

### 原子力安全対策等特別委員会

川内原子力発電所の安全対策等の調査を目的として設置され、参考人として7月4日は九電、7月11日は九電と原子力安全保安院を招致し、7月12日は県当局への質疑と請願・陳情の審査を詳細に行いました。

田中県議は、“川内原発、川内港付近に国の津波観測計が設置されていない”ことから、設置を強く要請しました。(県内に10箇所のみ、北薩では阿久根市に設置)

2期目、4年間も初志貫徹、全力投球でがんばります。

# コミュニティだより

「藤本の滝」PR看板が完成  
(樋脇町 藤本地区)

コミュニティ活性化のモデル調査地区  
となっており、県の地域振興推進事業を  
活用してPR看板が整備されました。



悲願のトンネル開通！！

甕縦貫道として、青瀬トンネル（1098m）と手打トンネル（1370m）が開通し、  
大幅な時間短縮と安全性の向上が図られました。



<青瀬トンネル>



<手打トンネル>

## 話題



田植えをしました。  
実りの秋を楽しみに、昨年に続いて、  
田植えに参加しました。



【隈之城地区】

## 県議会一口メモ

### 特別委員会の設置

二つの特別委員会が設置され、集中審議を  
行います。

1. 原子力安全対策等特別委員会（15名）  
鹿児島県議会で初めて設置されました。
2. 行財政改革特別委員会（13名）

## ～笑い・ユーモア～

### 12時間遅れ

- 田中県議が20歳代の独身時代の話です。  
ある日曜日の予定日は、昼間は友人の結婚式、夕方6時から自治会青年部の飲み会で準備担当だった。
- 結婚式は大いに盛り上がり、愉快地騒いで、自宅に帰り、夕方に備えて仮眠をとった。
- ふと、目が覚めると、外は薄暗く、時計は6時前。「よし、今から青年部の飲み会に行っど。」と言うと、お母さんが「ナヨ言うちよっとよ、今はモウ、朝の6時じゃあが。結婚式で飲みすぎて、昨日の夕方は起きらんかったが。」  
6時起床は6時でも、12時間遅れで目が覚めたわけだった。



薩摩川内市48コミュニティと県政発展のため、行動と政策提言を続けます。